

第 2 4 事業年度

事業計画書

自 平成 23 年 4 月 1 日
至 平成 24 年 3 月 31 日

社団法人 十勝釧路管内さけます増殖事業協会

〒080-0801

帯広市東 1 条南 2 丁目 1 番地

TEL 0155 (25) 0722 FAX 0155 (25) 0725

<http://homepage3.nifty.com/tokachikusirosakemas/>

E-mail : sakemasu-obihiro@nifty.com

目 次

平成 23 年度 基本方針	1～2
事業計画	3
1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業	3～4
2. 増殖施設、捕獲施設整備事業	4～5
3. ふ化放流事業助成事業	6
4. さけます資源保護対策	6
(1) 試験調査事業	
(2) 教育研修事業	
(3) 密猟防止対策事業	
(4) 河川環境保全対策事業	
5. 受入並びに負担事業	6～7
6. 施設整備 10 ヶ年計画（平成 23 年～30 年）	7
収支予算書	8～11
平成 23 年度ふ化放流事業・捕獲採卵事業収支予算内訳	12
平成 23 年度会費の額及び徴収方法	13
別表 1	14
別表 2	15

平成 23 年度 基本方針

平成 22 年度の十勝、釧路管内における秋さけ定置網漁業は、漁期前の来遊予測の段階から対前年比でエリモ以東東部及び西部とも 80%程度と厳しい予測が出されておりましたが、結果はこの厳しい来遊予想をも下廻り、釧路管内が漁獲尾数で対前年比 47%の 132 万尾、十勝管内が同じく 54%の 136 万尾、合計で対前年 50%の 268 万尾にとどまり、近年にない大変な不漁のうちに終漁を迎えました。

一方、漁獲金額においても、釧路管内が対前年比 47%の 164 億円、十勝管内が同じく 54%の 192 億円、合計で対前年 50.4%の 357 億円にとどまり、不漁のわりには単価の伸びもなく、漁獲尾数に比例して、これまた昨年の中半程度で終了したところであり、平成 22 年度は、ここ十数年来見たことのない異常ともいえる大変な不漁の年度でありました。

このような沿岸来遊の状況に呼応し、河川捕獲採卵事業についても大変な苦戦を強いられました。すなわち、釧路川では、大雨が繰り返す本川にウライがなかなか入れることが出来なかった一昨年度をも下回る 57,600 尾にとどまったほか、十勝川も例年の三分の一という 145,600 尾の成績にとどまるなど、大変な不振の中、異例の措置として日高から種卵の供給を受けたほか、日高、根室ともに本来供給する分をそれぞれに肩代わりして貰うなどにより、ようやく計画の 97.5%程度に納めたという近年にない結果となりました。この間、関係漁業者による二度に及ぶ自主規制の対応など、極めて異例な展開となったところであります。

このような昨年度の経過を反映し、本年度については財務的に逼迫した状況に置かれており、従来本年度に予定されていた施設整備を来年度以降に繰り延べしたり、財務運営に当たり経費の節減はもとより、経費節減だけでは補填しきれない部分について、借り入れによる対応、あるいは海面における漁獲の状況によっては臨時的な経費の徴収等が余儀なくされることも予想され、事業運営にいろいろと制約を受けることとなります。加えて、学術的に、レジームシフトに伴う太平洋側、とりわけエリモ以東海域におけるサケマス増殖事業の不安定な時代に入ったと言われており、従来にも増して、細心の注意のもと、関連する情報の収集や現場における技術の向上を図るなど、より堅実なふ化放流事業の推進が求められて来ております。このように本年度はかつてない、いろいろと難しい課題が山積した厳しい情勢の中での取り組みとなります。

以上のような情勢認識に立って、本年度は、特に以下の 5 点に留意しながら事業運営に当たって参りたいと考えております。

- 1 ふ化放流事業の基本となる施設整備については、現下の情勢を踏まえてより着実な計画となるよう見直しを行いながら、最低限必要となる施設の整備や維持補修を中心として取り進める。
- 2 施設整備と併せてふ化放流事業の基本であるふ化放流技術の向上を図るため、厳しい状況にあるからこそ、その担い手であるふ化放流技術者の体制に関して、技術者の持てる力が発

揮出来るようその見直しや整備について検討を進める。

- 3 レジームシフトという言葉に代表されるふ化放流事業を取り巻く厳しい自然的環境を少しでも克服するため、上記2と合わせて、その情報の収集や役職員の研鑽の場の確保に努める。
- 4 会員たる漁業者が、現下の厳しい情勢に関する認識を共有することはもとより、漁業者と当協会が一丸となって事業運営を行って行けるよう意識や行動の徹底を図る場の提供に努める。
- 5 現下の厳しい財務状況を勘案し、経費の節減はもとより、従来予定していた施設整備の来年度繰り延べすることなどにより急場を凌ぐとともに、会員のご理解のもと、経費補填の検討を行いながら、慎重な財務運営に努める。

いずれにしましても、本協会の使命は、浜の地域産業として大変重要な位置を占める会員皆様の定置網漁業の経営安定と地域経済の活性化を図るために、安定的なさけます資源の造成を行って行くことであり、本協会の使命の重大さは今さら申し上げるまでもございません。このことを認識の基本において、本年度も例年どおり管内総体で2億1230万尾の放流目標のもとにさけのふ化放流事業を行って参りますので、その円滑な推進につきまして会員各位のなお一層のご理解・ご協力をお願い申し上げますとともに、関係機関のご指導とご協力とを併せてお願い申し上げます。

事業計画

1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業

この事業の円滑な運営には基準事業費の受入は不可欠で、昨年度同額の 247,600 千円が本会に給付されます。

この制度のあり方を理解し、効率的、合理的な運営により一層努めて参ります。

(1) 親魚捕獲採卵事業

この事業は、全道的に各管内増協が北海道から業務委託を受けたなかで、特別採捕許可を受けて実施しておりますが、昨年と同様に捕獲は3事業河川及び5補完河川で実施致します。

事業河川である釧路川については6月下旬にはウライを入れ、親魚捕獲体制に万全を期して参ります。

もし、釧路川或いは広尾川で採卵数が計画を充足出来ないと予測される場合は、昨年同様十勝川で対応致します。系群保全河川である十勝川で不測の事態が予測される場合は、十勝・釧路管内で漁業者が協議し、エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会等を通じて網上げ等の措置を講じて頂き、河川遡上を促し親魚確保に全力を注ぎ種卵を確保して参ります。

不要親魚等の売却についても、3事業河川と5補完河川で行い、各漁協に捕獲業務を委託している補完河川については、経費に充当するよう全額を戻します。事業河川は総売却代金から諸費用を控除後、定めてある負担率により算出した金額を道増協に納付致します。

親魚等については例年通り帯広地方卸市場、釧路市漁協市場、広尾漁協市場、補完河川については最寄りの市場に上場致します。

【親魚売却計画】

(千円)

区 分	売 却 額	消 費 税	販 売 諸 費	差 引 残 額	道増協負担金	摘 要
事業河川	36,480	1,824	2,554	32,102	4,000	10%拠出
補完河川	3,520	176	246	3,098	0	
計	40,000	2,000	2,800	35,200	4,000	

(2) ふ化放流事業 (別表1及び2の資料参照)

北海道が策定したふ化放流計画に基づいて、健描な稚魚を成育し適期に放流する事を目標に万全の体制で取り進め致します。

ふ化放流事業については、二次飼育を含め21ヶ所の飼育施設と、資源の均等化と陸上施設の不足を補完する目的で、漁港内及び海浜域9ヶ所の海中飼育施設において、関係機関のご指導の下12名の技術職員と臨時雇員、並びに各漁協・定置部会のご支援を得て適期放流と健描の育成に努めます

二次飼育の餌料については本会の対応としているが、事業費に対しても助成事業として取り進め致します。

【平成23年度 さけ捕獲採卵ふ化放流計画】

海区	地区	期別	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	収容卵数 (千粒)	稚魚生産数 (千尾)	稚魚放流数 (千尾)	内海中飼育等 放流数(千尾)	
エリモ以東	東部	前期	43,100	39,550	44,030	37,340	37,340	3,800	
		中期	47,700	43,820	47,360	40,340	40,340	8,200	
		後期	20,000	18,390	18,390	15,720	15,720	0	
		計	110,800	101,760	109,780	93,400	93,400	12,000	
	西部	前期	63,700	58,460	53,980	45,790	45,790	1,000	
		中期	75,700	69,510	65,970	56,180	56,180	4,000	
		後期	21,600	19,790	19,790	16,930	16,930	0	
		計	161,000	147,760	139,740	118,900	118,900	5,000	
	合計			271,800	249,520	249,520	212,300	212,300	17,000

(3) さけ・ます資源高品質化推進事業について

広域連携さけ・ます資源造成推進事業を平成18年度から平成22年度までの5年間の予定で行い、事業が終了しました。広域連携事業に変わる新たな事業として、さけ・ます高品質のための適地放流手法の開発し、漁業者の受益に見合った、道県を超えた広域的な放流費用負担の調整を目標とした資源高品質化推進事業が開始されます。

補助対象尾数(千尾)	単価(円/尾)	適地放流調査稚魚売却収入 (千円)	施標業務受託収入(電気代) (千円)
4,600	3.2	14,720	225

2. 増殖施設、捕獲施設整備事業

(1) ふ化施設整備計画(単独)

各ふ化場の施設・設備等の整備を実施致します。(千円)

実施ふ化場名	整備内容	事業費	摘要
芦別ふ化場	養魚池棟ガラス修理他	100	
	ふ化槽下網	2,940	
標茶ふ化場	配水槽爆気装置・導水管改良工事	4,095	
	トイレ修理	100	
	遮光シート	70	
	高圧洗浄機ホース	46	
美留和ふ化場	飼育池歩廊板取替	988	
	飼育池防鳥用単管・クランプ	215	
	水中ポンプ	70	
オソツベツふ化場	池掃除機	3,400	
	サクションホース	150	
札内ふ化場	飼育池ポンプ操作盤改修	1,000	

	飼育池排水金網作成	100	
幕別ふ化場	養魚池棟ドア修理	300	
更別ふ化場	池掃除機	3,400	
広尾ふ化場	水温抑制装置(中古)購入	2,625	
	電気配線工事	550	
	上屋屋根修理	1,050	
	配水槽防水修理	700	
	池修理	200	
合計		22,099	

(2) 捕獲施設整備計画

捕獲場の施設、設備等の補修、改修等の整備を実施致します。

(千円)

実施捕獲場名	整備内容	事業費	摘要
釧路川捕獲場	ウライコンポーザパイプ交換	3,000	
	ウライ設置・解体工事・道路補修	3,945	
	活魚タンク修理	200	
	水中ポンプ 4台	250	
	魚網鋼材購入	479	
	道路補修	800	
幕別捕獲場	ウライ設置・撤去関係工事	5,690	
	動力工事	1,170	
	デッキ改修	600	
千代田捕獲場	サクシヨンホース	100	
	デッキ設置	500	
広尾捕獲場	ウライ用蛇籠資材	1,200	
	宿舎流し台改修	500	
	ウライ資材	300	
	漁具修理	60	
合計		18,794	

3. ふ化放流事業助成事業

各漁協、部会で実施している河川での稚魚二次飼育事業費に対して応分の助成を致します。

釧路地区

(千円)

幌 戸	大 田	チ ョ ロ 別	庶 路	茶 路	音 別	小 計
9,520	3,328	5,250	2,310	6,820	3,320	30,548
十勝地区						(千円)
更 生	小 紋 別	小紋別第 2	大 樹	小 計		合 計
4,950	1,210	1,850	1,210	9,220		39,768

4. さけ・ます資源保護対策事業

(1) 試験調査事業

(独) 北海道区水産研究所さけます資源部(旧水産総合研究センターさけますセンター)が行う、エリモ以東海区の幼稚魚河川分布調査、モニタリング調査、北海道が秋さけ来遊資源予測の向上と適切な資源利用を目的として実施する耳石調査等、回帰資源の高位安定と効率事業推進のための各種試験及び調査の実施に積極的に協力致します。

(2) 教育研修活動

(独) 北海道区水産研究所さけます資源部、道総研 さけます・内水面水産試験場(旧道立ふ化場)、道増協及び関係機関が主催する技術研修会等に積極的に参加し、ふ化放流技術の向上を図ります。

(3) 密漁防止対策事業

管内の主要捕獲河川において、関係機関のご協力を得て密漁監視パトロールを実施して、密漁防止に努めます。

(4) 河川環境保全対策事業

管内における増殖河川の環境調査、及び汚濁防止のための監視活動、水質保全のための水質調査、開発建設部並びに北海道土木現業所が行う河川工事について、引続き関係機関との協力体制のもとに実施致します。

5. 受入並びに負担事業

(1) さけ・ます増殖事業支援事業(基準事業費)

道増協が実施する増殖事業支援事業制度について事業費負担をし、さけ・ます稚魚飼育放流事業及び親魚捕獲採卵事業に対して助成金を受け入れます。

全道の各管内増協が漁獲金額に応じて負担する12億円を原資として、各管内増協が実施している稚魚放流数並びに採卵数を基礎として算出されます。

増殖支援事業費(千円)助成金	漁獲高割負担金(千円)	差引額(千円)
247,600	100,347	147,253

(2) 秋さけ資源増大対策資金

本協会が実施する増殖施設整備事業に充当する目的の、エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会からの寄付金について、適正に管理運用致します。

6. 施設整備10ヶ年計画

施設整備10ヶ年計画

(千円)

年度	内 訳				費用
	新設	大規模修繕	中規模修繕	ローカルその他	
21 (実績)			札内・更別 80,000 標茶・茶路 112,000	20,800	212,800
22 (実績)	芦別ふ化場 91,350	美留和ふ化場 183,455 (407,650)		66,240	341,045 (565,240)
23				40,900	40,900
24			茶路 85,000	50,500	135,500
25			標茶 30,600	20,000	50,600
26	士幌(札内) 200,000 (400,000)			34,000	234,000 (434,000)
27				44,000	44,000
28		札内 25,900 (51,800) 美留和 28,000		34,100	88,000 (113,900)
29				37,000	37,000
30				16,000	16,000
費用合計	291,350 (491,350)	237,355 (459,450)	307,600	363,540	1,199,845 (1,649,940)

※()の数値は補助金を加算した金額

収 支 予 算 書

(平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)

(単位：千円)

科 目	H23 年予算額	H22 年予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	100	400	△300	
特定資産利息収入	100	400	△300	
②会費収入	401,900	482,300	△80,400	
漁獲高割会費収入 (秋)	345,000	414,000	△69,000	
漁獲高割会費収入 (積)	50,000	60,000	△10,000	
漁獲高割会費収入 (春)	5,000	5,900	△900	
漁獲高割会費収入 (特)	1,500	2,000	△500	
会員会費収入	400	400	0	
③事業収入	40,225	154,870	△114,645	
親魚捕獲採卵事業収入				
親魚等売却収入	40,000	94,800	△54,800	
資源造成事業稚魚売却収入	0	60,070	△60,070	
業務受託収入				
施標業務受託収入	225	0	225	
④補助金等収入	262,320	495,300	△232,980	
施設整備事業国庫補助金収入	0	178,500	△178,500	
道増協助成金収入	262,320	316,800	△54,480	
ふ化放流施設整備助成金収入	(0)	(64,200)	(△64,200)	
適地放流調査稚魚売却収入	(14,720)	(0)	(14,720)	
増殖事業基準事業費収入	(247,600)	(247,600)	(0)	
移管施設取得助成金収入	(0)	(5,000)	(△5,000)	
⑤雑収入	750	770	△20	
受取利息収入	50	70	△20	
職員住宅料収入	600	600	0	
雑収入	100	100	0	
⑥他会計からの繰入金	0	0	0	
事業活動収入合計	705,295	1,133,640	△428,345	

科 目	H23 年予算額	H22 年予算額	増 減	備 考
2. 事業活動支出				
①事業費支出	175,719	305,560	△129,841	
ふ化放流施設整備事業費	12,000	43,000	△31,000	
試験調査事業費支出	4,500	3,000	1,500	
増殖研修事業費支出	1,500	1,500	0	
教育活動事業費支出	150	150	0	
事業負担金支出	154,769	247,610	△92,841	
道増協漁獲高割負担金支出	(100,347)	(169,260)	(△68,913)	
広域推進事業負担金支出	(0)	(30,035)	(△30,035)	
増殖施設有償貸付負担金支出	(294)	(367)	(△73)	
ふ化放流事業負担金支出	(42,768)	(40,248)	(2,520)	
親魚等売却負担金支出	(4,000)	(7,700)	(△3,700)	
高品質化推進事業負担金支出	(7,360)	(0)	7,360	
親魚等売却諸費支出	2,800	10,300	△7,500	
②ふ化放流事業支出	226,945	218,600	8,345	
③捕獲採卵事業支出	186,553	191,720	△5,167	
④管理費支出	57,870	54,590	3,280	
役員報酬支出	6,000	6,000	0	
給料手当支出	15,505	14,800	705	
法定福利費支出	3,000	2,780	220	
福利厚生費支出	800	790	10	
地代家賃費支出	445	0	445	
保険料支出	1,300	880	420	
賃借料支出	1,930	1,820	110	
水道光熱費支出	430	430	0	
車両費支出	1,650	1,650	0	
旅費交通費支出	6,200	6,250	△50	
通信運搬費支出	850	880	△30	
広告宣伝費支出	120	130	△10	
租税公課支出	14,600	12,760	1,840	
接待交際費支出	700	750	△50	
印刷費支出	140	270	△130	
備品費支出	50	200	△150	
消耗品支出	500	530	△30	

科 目	H23 年予算額	H22 年予算額	増 減	備 考
会議費支出	1,100	1,200	△100	
図書購入費支出	120	120	0	
事務委託費	0	60	△60	
負担金支出	20	20	0	
修繕費支出	200	1,040	△840	
支払利息支出（短期運営資金）	1,300	40	1,260	
雑支出	910	1,190	△280	
事業活動支出計	647,087	770,470	△123,383	
事業活動収支差額	58,208	363,170	△304,962	
科 目	H23 年予算額	H22 年予算額	増 減	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	100,512	157,300	△56,700	
特別準備金取崩収入	0	0	0	
施設整備積立金取崩収入 （自己積立口取崩収入）	100,512 (9,112)	157,300 (0)	△56,788 (9,122)	
（秋さけ資源増大対策資金口）	(91,400)	(157,300)	(△65,900)	
② 固定資産売却収入	0	0	0	
投資活動収入計	91,400	157,300	△65,900	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	55,233	97,510	△42,277	
施設整備積立資産取得支出 （自己積立口）	55,233 0	97,510 (32,790)	△42,277 (△32,790)	
（秋さけ資源増大対策資金口）	(50,000)	(60,000)	(△10,000)	
（退職給付引当資産取得支出）	(5,233)	(4,720)	(513)	
② 固定資産取得支出	103,487	422,960	△319,473	
土地購入支出	0	0	0	
建物建設（購入・取壊）支出	0	20,790	△20,790	
構築物建設支出	0	273,900	△273,900	
建物付属設備建設支出	66,083	81,950	△15,867	
機械装置購入支出	35,675	10,900	24,775	

科 目	H23 年予算額	H22 年予算額	増 減	備 考
工具器具備品購入支出	1,729	35,420	△33,691	
車両運搬具購入支出	0	0	0	
無形固定資産取得支出	0	0	0	
建設仮勘定支出	0	0	0	
投資活動支出計	158,720	520,470	△361,750	
投資活動収支差額	△58,208	△363,170	△304,962	
Ⅲ財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入	100,000	50,000	50,000	
短期借入金収入	100,000	50,000	50,000	
財務活動収入計	100,000	50,000	50,000	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出	100,000	50,000	50,000	
短期借入金返済支出	100,000	50,000	50,000	
財務活動支出計	100,000	50,000	50,000	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ予備支出	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

科 目	H23年予算額	H22年予算額	増 減	備 考
1. ふ化放流事業費支出				
職員給料手当支出	53,040	52,220	820	
臨時労務費支出	23,829	27,090	△3,261	
法定福利費支出	9,338	9,890	△552	
福利厚生費支出	1,832	1,860	△28	
施設整備費支出	7,350	640	6,710	
施設補修費支出	1,751	2,690	△939	
備品費支出	4,956	3,190	1,766	
消耗資材費支出	7,105	8,330	△1,225	
餌料費支出	44,520	44,450	70	
借上料支出	10,072	10,790	△718	
車両費支出	7,744	7,570	174	
燃油費支出	5,304	5,120	184	
旅費交通費支出	1,543	1,560	△17	
通信費支出	2,152	1,930	222	
水道光熱費支出	3,167	2,810	357	
動力費支出	40,769	35,380	5,389	
会議費支出	27	100	△73	
雑費支出	2,446	2,980	△534	
ふ化放流事業費支出計	226,945	218,600	8,345	

科 目	H23年予算額	H22年予算額	増 減	備 考
2. 捕獲採卵事業費支出				
従業員給料手当支出	81,103	85,630	△4,527	
臨時労務費支出	6,816	6,600	216	
法定福利費支出	10,535	9,970	565	
福利厚生費支出	4,542	4,820	△278	
施設整備費支出	4,500	2,120	2,380	
施設補修費支出	15,116	15,230	△114	
備品費支出	1,627	920	707	
消耗資材費支出	9,608	11,720	△2,112	
借上料支出	2,165	1,760	405	
車両費支出	23,650	24,860	△1,210	
燃油費支出	7,948	8,040	△92	
旅費交通費支出	2,023	2,170	△147	
通信費支出	1,171	1,220	△49	
水道光熱費支出	2,347	2,130	217	
動力費支出	10,332	10,750	△418	
会議費支出	237	590	△353	
雑費支出	2,833	3,190	△357	
捕獲採卵事業費支出計	186,553	191,720	△5,167	

平成23年度会費の額及び徴収方法

1. 会費の額

(1) 定額会費

10漁業協同組合及び10市町村の会員に対して2万円の負担をお願い致します。

(2) 秋さけ定置漁業会員会費

①漁獲金額（消費税控除後）の6.9%とする。

②漁獲金額（消費税控除後）の1.0%を施設整備のための積立とする。

(3) 春さけます定置網漁業会費

①漁獲金額（消費税控除後）の2.0%とする。

会費は8月31日までに納入願います。

(4) 賛助会員会費

免除とする。

2. 入会金

新規に入会する者は2万円を納入する。

3. 会費の納入時期

事業の運営をスムーズに実施するため、原則として毎月水揚げ分の会費は、翌月10日までに納入願います。

平成23年度サケ人工ふ化放流計画:全体

(社)十勝釧路管内さけます増殖事業協会

海区	地区	支庁	捕獲場 ()は補完河川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考			
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)						
えりも以東	東部	根室							落石	4,100	3,400	落石 落石 落石	1,000 1,400 1,000	◎昆布盛 ◎三里浜 ◎沖根婦漁港	1,000 1,400 1,000				
		釧路	(幌戸)					1,530					オソツベツ オソツベツ	1,800 1,300	幌戸	1,800			
			(藻散布)										オソツベツ 美留和 標茶 オソツベツ	800 500 2,000 1,000	◎霧多布港湾沖 新川	2,970 800			
			(別寒辺牛)					590						美留和 オソツベツ	490 500	◎藻散布港湾	990		
														美留和 標茶	2,820 980	別寒辺牛	3,800		
									2,360					オソツベツ	2,000	◎厚岸漁港	4,950		
									1,180					美留和 標茶	2,950 0				
														標茶	990	◎老者舞漁港	990		
														オソツベツ	2,000	チヨロベツ	2,000		
														標茶	990	◎昆布森漁港	990		
				釧路		110,800	101,760			7,100		美留和 標茶 オソツベツ ※鶴居 芦別	33,810 14,480 20,000 10,500 17,300	28,710 12,300 17,000 9,100 14,700		◎釧路港東港区	120	釧路 54,800	
													美留和 茶路	4,600 990	庶路 ◎白糠漁港	4,600 990			
											茶路	9,590	8,190		茶路	7,200			
		地区計			110,800	101,760	0	8,020	10,500			109,780	93,400		31,900	93,400			
		西部	釧路								音別	10,600	9,000			音別	9,000		
	十勝		幕別 千代田		145,800	133,870		8,020	17,800		更別第1 ※十勝 幕別 札内	12,900 17,800 28,000 28,500	10,990 15,300 23,810 24,200		◎厚内漁港 十勝	3,000 60,500			
			(歴舟)											更別第1 幕別	1,700 3,800	当縁 歴舟	1,700 8,100		
			(小紋別)											更別第1 更生 更別第1	2,090 2,340 1,710	小紋別	6,900		
														更別第1 広尾	2,090 3,000	豊似	3,000		
				(楽古)								楽古 広尾	3,540 21,400	3,000 18,200	広尾 広尾	400 11,800	楽古 ◎十勝港	3,400 1,000	(4,600千尾保留)
				広尾		10,600	9,690								広尾 広尾	1,000 1,000	◎音調津漁港	1,000	
															広尾	1,000	◎音調津漁港	1,000	
															猿留	8,200	猿留	7,000	
				日高	(猿留)		4,600	4,200											
			地区計			161,000	147,760	8,020	0	17,800			139,740	118,900		22,540	118,900		
	海区計				271,800	249,520	8,020	8,020	28,300			249,520	212,300		54,440	212,300			

※は(独)北海道区水産研究所さけます資源部(旧水産総合研究センターさけますセンター) 稚魚生産率85%、捕獲親魚の♀比45%、♀使用率90.0%、1尾当平均採卵数2,400粒

係数1.089 * 収容卵数 = 捕獲尾数

(楽古についての4,600千尾減については、施設整備後集約完了まで保留)

平成23年度カラフトマス人工ふ化放流計画

海区	地区	支庁	捕獲場() は補完河 川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	收容場	收容卵数 (千粒)	稚 魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)			
えりも 以東	東部	根室							落石	1,900	1,500			◎落石地先	1,500	
		釧路	釧路	16,600	7,300				芦別	5,400	4,300			釧路	4,300	
	地区計			16,600	7,300					7,300	5,800				5,800	
海区計																

平成23年度ベニザケ人工ふ化放流計画(稚魚生産)

(社)十勝釧路管内さけます増殖事業協会

海区	地区	支庁	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	收容場	收容卵数 (千粒)	稚 魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	幼魚生産場	幼魚生産 移行数 (千尾)
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)				
えりも 以東	東部	釧路	釧路	※1 70	70			70	※鶴居	70	60					※鶴居	60
		地区計			70	70			70		70	60			0		0
	海区計			70	70			70		70	60			0		0	60

※1 捕獲数策定指標 ♀比55% ♀使用率75% 1尾当平均採卵数2,100千粒

平成23年度ベニザケ人工ふ化放流計画(幼魚生産)

2010年級群(H22)

海区	地区	支庁	幼魚生産場	稚魚收容数 (千尾)	幼魚生産数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	幼魚放流数 (千尾)		
						供給場	稚魚数 (千尾)		0+秋	1+春	計
えりも 以東	東部	釧路	※鶴居	55	50			釧路		50	50
		地区計									
	海区計			55	50					50	50